

記載例

塩尻市まちづくりチャレンジ事業補助金応募書

1 応募者名

団体名	SWAしおじりワインアカデミー				
団体事務所所在地	〒399-0786 塩尻市大門七番町3番3号				
代表者	氏名	塩尻 明子	TEL	0263-65-4321	
	住所	〒399-0786 塩尻市大門七番町3番3号			
事務担当者	氏名	塩尻 笑太			
	連絡先	住所	〒399-0736 塩尻市大門一番町12番2号		
		TEL	0263-53-3350	FAX	0263-53-3362
		Eメール	××@city.shiojiri.lg.jp		

2 団体の概要

設立年月	2012年 4月	現在の状態は？ 課題は？	団体として活動されているか？（概ね5人以上）	会員数	10人	協働事業助成 1回目
------	----------	-----------------	------------------------	-----	-----	---------------

1 現状の課題と活動の目的は何ですか。（活動のきっかけは）

例：現在は、国内産ワインの消費量が上昇傾向にある一方で、後継者の不足による塩尻特産であるブドウの栽培面積の減少傾向という矛盾が生じている。その解決のため I ターンや早期離職などにより新しい生き方を求めている市民が中心となり、栽培者やワインファンの増加を図りブドウ園を中心とした、塩尻の新しい魅力を創出していく。

2 課題解決の向け、どのような活動を行っていますか（行いますか）。

例：・ブドウ栽培応援

- ・ぶどうづくり研修会、ワインセミナーの開催
- ・収穫体験イベント、ワイン試飲会の開催

3 活動は定期的に行われていますか。

☒ いる（ 2回／月） ☐ いない ☐ 行う予定（ 回／月）

計画的な事業、事業実施に向けた打ち合わせ等を行っているか？

公益性があるか？
地域・社会の課題解決につながっているか？

4 団体の活動によって誰がどのような状態になることをめざしていますか。

活動を行うことで、

〇〇が

〇▲の状態になる

- 例：・荒廃する農園 が 減少するとともに、栽培指導などにより農家の 方が 生き甲斐を感じながら、後継者の発掘したり・育成を行ったりすることにもつながる。
- ・塩尻市民 が ワインの魅力を変えて認識しふるさとへの愛着が増す。
- ・県外ワインファン が おいしいワインを求めて来塩し、ワイン消費が向上する。

※

団体の概要が分かる資料（パンフレット、新聞記事等）がありましたら、参考として添付してください。

記 載 例

3 事業計画

チャレンジ事業	☐ トライアル ☒ ステップアップⅠ ☐ ステップアップⅡ ☐ ステップアップⅢ	
補助事業の名称	(分かりやすく短かめに書いてください) 桔梗ヶ原ワインセミナー「ブドウづくりからワインまでⅠ」	
事業の目的	1 課題	☒ 課題の解決のため ☒ 課題の共有・提言のため
	2 何のためにどのような活動を行いますか	団体の目的達成に向け、今年度は、 <u>後継者がなく、荒廃が予想されるブドウ園を活用しながら、塩尻のブドウやワインの魅力を全国に発信していくために、</u> ・団体の組織化と会員の募集を行います。 ・会員及び市民がぶどうづくり、ワインづくりの知識を習得する機会をつくれます。 ・ぶどう栽培・ワインづくりの広報を行います。
	3 スケジュール（打ち合わせ会議—事業実施—まとめ） （補助対象期間 令和2年6月1日～令和3年3月20日）	4月～5月 会員募集 6月以降 セミナー開催（毎月2回） 2月 総会 3月 SWAレター発行
	4 参加者の範囲、人数は	新たな生き方を求めている市民 30人
	5 事業従事者数（企画・運営関係人数）	10人
	6 事業実施によって誰がどのような状態になりますか（できるだけ具体的かつ数値化してください。）	（1）対象 ①組織 ②事業従事者数 （2）事業終了後の目指す姿 ①団体を法人化する。 ②事業終了時までには10%増を達成する。

4 補助金要望額（年度分）

200,000 円

○収支予算書、規約、会員名簿を添付してください。

※ステップアップ（発展型事業）の場合は、事業計画書も添付してください。

〈参考〉選考基準

「塩尻市まちづくりチャレンジ事業補助金」は応募書類・公開選考による事業査定をさせていただきます。次のような場合、助成の対象となりません。

①団体・事業の目的が不明確なもの

・社会や、地域のどのような問題を解決するための活動なのかが不明確なもの

②公益性がない活動・事業

- ・趣味やサークルの活動
- ・個人や団体だけの利益のための活動
- ・参加者が少数限定の活動
- ・宗教・政治活動

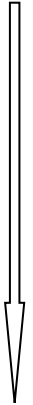
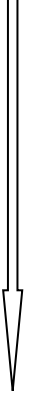
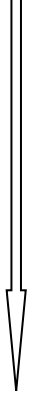
③団体が自立していないまたは自立を目指さない事業

- ・会則を定めていない
- ・会費を徴収していない
- ・財政計画がきちんとしていない
- ・事務費、備品の比率が対象経費全体の6割以上のもの
- ・食糧費（講師昼食代等を除く）を経費とする事業

事業計画書（ステップアップ）

団体名 SWAしおじりワインアカデミー

事業内容・実施方法（詳細・具体的に記載してください）

時期	1年目	2年目	3年目
段階	（ステップアップⅠ） 自立に向けた団体・新規事業の基礎づくり	（ステップアップⅡ） 自立と目的達成に向けた事業の展開	（ステップアップⅢ） 自立と目的達成に向けた事業、協働事業実施に向けた提案準備
事業実施目標	例： ・ブドウ栽培技術の取得 ・事業を進めていくためのメンバーの拡大とネットワークづくり	・ブドウ栽培技術の取得 ・セミナー開催等によるブドウ・ワインに対する市民意識の向上 ・ワイン人口の拡大	・セミナー開催等によるワイン人口の拡大 ・イベント支援によるイベントノウハウの取得 ・関係機関との連携
事業内容	・会員募集 ・ワインづくりセミナー開催 座学…月1回 座学、実地…月1回 ・事業計画策定	・ワインづくりセミナー開催 座学…月1回 座学、実地…月1回 ・収穫体験会開催 ・ワイン試飲会開催	・ワインづくりセミナー開催 座学…月1回 座学、実地…月1回 ・収穫体験会開催 ・ワイン試飲会開催 ・イベント補助
実施方法	・農家、ワイナリー関係者を講師として招きブドウ栽培、ワインづくりについて講義開催 ・栽培、収穫体験	・農家、ワイナリー関係者を講師として招き研修 ・栽培応援（実地研修） ・収穫体験 ・ワイン試飲会 ・SWCだより発行	・農家、ワイナリー関係者を講師として招き研修 ・栽培応援（実地研修） ・収穫体験 ・ワイン試飲会 ・市協会主催事業補助
スケジュール	4月 会員募集 5月 会員募集 6月 セミナー開催（毎月2回） 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月	受講者募集 受講者募集 セミナー開催（毎月2回） 収穫体験計画 収穫体験募集 収穫体験実施 ワイン試飲会企画 ワイン試飲会募集 ワイン試飲会企画 総会 （SWAレター 年2回発行）	受講者募集 受講者募集 セミナー開催（毎月2回） 収穫体験計画 収穫体験募集 収穫体験実施 市イベント補助 ワイン試飲会募集 ワイン試飲会企画 総会 （SWAレター 年2回発行）
	 総会 SWAレター発行	 総会 （SWAレター 年2回発行）	 総会 （SWAレター 年2回発行）
		通年、実地研修を兼ねた農家支援	

※ 各欄に記載しきれない場合は、適宜作成してください。（複数ページにわたっても可）
事業の概要が分かる参考資料がありましたら添付してください。

記 載 例

収 支 予 算 書

団体名 SWAしおじりワインアカデミー

総事業費	311,000 円	
補助金要望額)	200,000 円	
科 目	金 額 (円)	積 算 内 訳
収 入		
市補助金	200,000	まちづくりチャレンジ事業補助金 限度額の範囲内
その他の補助金	0	
参加者負担金	60,000	300 円×延べ 200 人=60,000 円
会費等の収入	51,000	年会費 5,000 円×10 人=50,000 円 月会費 1,000 円×1 人=1,000 円
合 計	311,000	
支 出		
謝金・謝礼	67,000	3,350 円×20 回=67,000 円
旅費・交通費		
備品購入費		
消耗品費	50,000	紙、インク等 試飲用グラス 300 円×50 個=15,000 円 剪定ばさみ 1,000 円（補助）×20 個=20,000 円
印刷製本費	41,000	チラシ 500 枚 3,000 円・ポスター10 枚 5,000 円 資料 200 円×40 回=8,000 円 SWA レター印刷 50 円×500 部=25,000 円
通信費	5,000	レター郵送 20 カ所、受講者通知 20 人
広告料		
使用料・賃借料	86,000	〇〇会場使用料 4,300 円×20 回=86,000 円
保険料	2,000	
小計(補助金対象額)	251,000	補助金額：補助対象経費×補助率=200,000 円（限度額の範囲内）
食 糧 費	50,000	試飲用ワイン 2,500 円×20 本=50,000 円
研 修 費	10,000	先進地視察費 10,000 円
その他の補助対象 外経費		
対象外経費計	60,000	
合 計	311,000	

◆助成金を申請する事業に係る収支予算だけを、科目ごとに詳しく（何に〇円、単価×〇人×〇日等）記載してください。

※《市補助金・補助金要望額》

「その他の収入計」が、「対象外経費計」の額を上回るときは、補助金対象額からその上回る額を差し引いたものを補助金要望額（補助金額）とします。（限度額の範囲内）

※《備品購入費》

協働のまちづくり推進委員会にて適切かどうか協議し、決定するものとします。

記 載 例

会 員 名 簿

団体名 _____

	氏 名	住 所 又 は 居 所 (〇〇市〇〇までで結構です)
1	〇〇 〇〇	〇〇市〇〇
2	〇〇 〇〇	〇〇市〇〇
3	〇〇 〇〇	〇〇市〇〇
4	〇〇 〇〇	〇〇市〇〇
5	〇〇 〇〇	〇〇市〇〇
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

※ この会員名簿は、塩尻市まちづくりチャレンジ事業に関する事務以外に使用することはありません。